



しょうそういん

## 正倉院は、どんな建物なの



しょうむてんのう いひん  
**聖武天皇の遺品などが保管されている、奈良時代**  
 あぜくらづくり  
**の校倉造の宝庫だよ。**

「**正倉**」は、奈良・平安時代の役所の主要な倉庫のことです。「**正倉院**」という場合は、正倉の建物や、それをふくむ区画をさします。奈良・平安時代には、都や地方の役所・寺院に、正倉・正倉院がありました。今は東大寺にしか残っていないので、「**正倉院**」といえば、東大寺の正倉院をさします。

### 正倉院の宝庫のつくり

東大寺の正倉院には、**宝庫**・**聖護蔵**・**持仏堂**・**新宝庫**などの建物があります。有名な宝庫は、全部にひのき材を使った**寄棟造**で、南北は33.1メートル、東西は9.4メートル、高さは14メートルあります。内部は三つに分かれ、**北倉**・**南倉**のかべは**校倉**、**中倉**のかべは**板かべ**です。**校倉づくり**は三角形の木材を組んだかべで季節によって水分をふくんでふくらんだりして湿気を調節します。床は、南北10列、東西4列の丸柱40本に支えられた、高さ2.7メートルの**高床**で、風通しがよく地面の湿気も防ぎ、**宝物**が厳重に管理されてきました。建てられた年は、はっきりしないのですが、おそくても760年代の初めには、完成していたようです。

### 聖武天皇の遺品などがある

宝庫に保管されている物には、756年に聖武天皇が亡くなった後、その**皇后**だった**光明皇太后**が、聖武天皇が残した品々に、自分の物を加えて、東大寺に寄付した物があります。また、752年の**大仏開眼供養会**（大仏に**魂**を入れる儀式）に使われた**道具**や**貢ぎ物**、東大寺関係の**仏具**・**絵図**・**文書**などもあります。正倉院の宝物の中には唐・インド・ヘレニズム文化の流れをくむすぐれたものが多くあり、天平文化の国際性を反映しています。昔の目録に書かれた宝物の中には、なくなったものもありますが、大部分の宝物は、今でも残っています。明治時代から、宝庫は皇室のものとなり、**宮内庁**が管理しています。今は、宝物はすべて、1962年に建てた**新宝庫**に移されています。